

第215号

令和8年7月24日発行

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人 積田優

編集人 総務・広報委員会
(委員長 橋本幹男)

事務局

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
https://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

TEL 048(864)0385

編集 日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

彩の耀

さいのかがやき

一般社団法人 埼玉県電業協会

耀け埼玉電協!

～2030年に向けて持続可能な開発目標～



令和8年度定時総会開催 積田会長の3期目始動

令和8年度の定時総会を5月28日、さいたま市内のホテルプリランテ武蔵野で開催しました。任期満了に伴う役員改選では、積田優会長を再任し、3期目がスタートしました。

積田会長は「大変難しい時代であり、身の引き締まる思い。皆さまのご協力をいただきながら、協会の発展に全身全霊で取り組んでまいります」と決意を新たにしました。

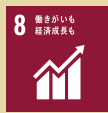


議事では前年度の会務報告と収入・支出決算を承認した後、本年度の事業計画や予算、共同購買事業等を報告しました。役員改選では、重任14名の役員の他、新理事に島村典泰氏、小川佳輝氏、飯島将史氏、丸山正氏が加わりました。総会後の互選理事会にて積田会長、副会長の内山祥章氏、佐野雄一朗氏、深井正美氏、山本和利氏の4人とも再任されました(P4参照)。また総会後の懇親会の冒頭、司会者より出席者の皆様へ新役員を紹介しました。来賓には大野元裕知事代理で県土整備部の飯塚雅彦副部長、埼玉県議会の荒木裕介議長、当協会顧問を務める県議会議員の田村琢実氏、白土幸仁氏、神尾高善氏、深谷顕史氏の4名、関東地方整備局宮繕部官庁施設管理官の田中幸一氏から祝辞を贈り、協会のさらなる活躍に期待を寄せました。



積田会長

令和8年度 優良従業員等表彰



会員企業の永年勤続等をたたえる優良従業員表彰式が、5月28日の定時総会後に開かれ、永年勤続者部門では勤続20年以上の17人、10年以上の21人、優秀技

術者部門7人の計45人が受賞しました。栄えある受賞者は次の通りです。※敬称略

優秀技術者表彰部門

会 員 名	被表彰者名	対 象 工 事 名
(株)東電工業社	永井 昭彦	総選除) 23熊谷スポーツ文化公園陸上競技場照明設備更新工事
(株)エコー	鳥羽 修次	総選除) 23さいたまスーパーアリーナ高圧配電設備改修工事
(株)内田電気商会	鈴木啓太郎	(ゼロ債務) 23久喜工業高校管理棟ほか全体改修電気設備工事
島村電業(株)	増田 稔	総選除) 23さいたまスーパーアリーナ特高受変電設備改修工事
(株)積田電業社	斎藤 宏典	総選除) 23朝霞児童相談所(仮称)新築動力設備ほか工事
深井電気(株)	山口 聖正	23環境整備センター受変電設備等改修工事
(株)丸電	中村 陽一	総選除) 23朝霞児童相談所(仮称)新築電灯設備ほか工事

永年勤続者表彰部門勤続20年以上

会 員 名	被表彰者名
(株)イトラスト埼玉	伊達 直彦
(株)大久保電気	齋川 誠
(株)岡村電機	新井久麗子
三位電気(株)	加藤 秀律
(株)大広電気	佐藤 武
(株)電成社	渡邊 正文
ニチデン技術サービス(株)	神田 一就
(株)万代電気工業	伊藤 良輔
(株)万代電気工業	田島健太郎
深井電気(株)	小野寺秀夫
フジヤ電気工事(株)	長谷川正光
フジヤ電気工事(株)	富永 敦夫
(株)松岡電気工業	関根 康介
(株)丸電	長岡 聡
(株)八洲電業社	奥澤 宣則
(株)八洲電業社	大野 貴宏
(株)ヤマト・イズミテクノス	綿貫千恵子

永年勤続者表彰部門勤続10年以上

会 員 名	被表彰者名
(株)イトラスト埼玉	竹井健太郎
(株)大久保電気	田中 祐太
(株)おぎでん	有賀由美子
佐野電機(株)	高橋 雅也
佐野電機(株)	児玉 一喜
三位電気(株)	菅原 辰朗
島村電業(株)	山本 修平
(株)高岡電気工業	渡邊 浩司
(株)電成社	川又 篤
(株)東電工業社	戎居 桂三
中村電設工業(株)	北島 直弥
ニチデン技術サービス(株)	篠原 章人
(株)配島電機	阿部 義史
(株)万代電気工業	黒岩 俊介
(株)万代電気工業	大澤 洸太
富士電気工業(株)	平塚 竜太
(株)丸電	關 渉
(株)明電社	藤田 純
(株)八洲電業社	中原 江美
(株)八洲電業社	松本 一成
(株)ヤマト・イズミテクノス	平岡 俊一



「市制施行40周年」 市民と共につむぐ未来と 新たな挑戦



幸手市長 **木村 純夫**

一般社団法人埼玉
県電業協会の皆様
におかれましては、電
気設備産業の健全な
発展のための活動を
つうじて、私たちの

策は、市民の健康増進のみならず、地域の活性化、そして持続可能な社会の実現に寄与する極めて重要な基盤施策であり、医療、福祉、教育、産業など、市政のあらゆる領域に密接に関連しています。（前半でご紹介しました「シティプロモーション映画」も「食」をテーマにしたものです。）

安全・安心な暮らしと地域経済を支え続けてこれたご尽力に深く敬意と感謝の意を表します。

幸手市は、古くから日光街道の宿場町として栄え、現在は豊かな自然と利便性が調和したまちです。特に「権現堂桜堤」は、関東屈指の桜並木と菜の花畑をはじめ、初夏の紫陽花、秋の彼岸花、冬の水仙と、四季折々の美しい景観で、市内外から多くの人が訪れ、市が誇る大きな魅力のひとつです。

このような長い歴史と豊かな歩みを経て、幸手市は令和8年10月1日に「市制施行40周年」という大きな節目を迎えます。この記念すべき年を皆様と共に祝い、さらなる発展へとつなげるため、多彩な記念事業を展開しています。

特色ある取り組みのひとつが、市制施行40周年記念事業として進めている「シティプロモーション映画制作事業」です。この映画は、オール幸手ロケ・オリジナル脚本で制作しており、市民オーディションには100名を超える方が市内外から集まり、エキストラ登録も600名を超えました。市民の方が「幸手市のために形あるものを作り上げる」という共通の目標に向かって主体的に関わったこの経験は、郷土への愛着（シビックプライド）を育むとともに、市外からも多くの方が参加してくださったことにより、観光で訪れるだけでなく幸手市に継続的に関りを持っていただける方、いわゆる「関係人口」の増加を後押しする大きな原動力になると確信しております。

「市制施行40周年」は、10年、20年先の未来を見据えた「新たな挑戦と成長」の契機となる大切な機会と考えています。そのために、様々な施策を実施しておりますが、特に「食」に関する施

まず、今年度から小中学校の給食費を完全無償化し、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進しております。幸手市は、学校に給食室を備えた自校式給食を実施しており、学校ごとの特色を生かした出来立ての給食を提供しています。県学校給食会主催の「学校給食調理コンクール」において、毎年のように入賞しており、加えて、市制施行40周年を記念して権現堂桜堤をイメージした給食を提供する予定です。

また、「食」を支える地域農業の発展に力を入れており、農薬・化学肥料を一切使用しない有機栽培米をブランド化し「幸ヒカリ」として商品化を図りました。さらに、地域農業の担い手対策として、県外から移住し独立就農を目指す新規就農希望者を「幸手市地域おこし協力隊」として委嘱しています。協力隊員は、農業研修や幸手産農産物を使用した商品開発などの活動を行っています。農業法人の参入支援も実施しており、それにより新規参入が進んでいます。他にもJA全農による全国初の先進的トレーニングセンターの開所、次世代型温室ハウスを展開する農業生産法人との大規模土地改良事業など、農業基盤の形成を実現し、地域・行政・企業の三位一体による地域の発展を目的とした連携を行っています。

こうした施策を多くの方々と協力して着実に進め、「選ばれるまち、住み続けたいまち」の実現へ全力を注いでまいりますので、貴協会の皆様におかれましても、市政運営に対し、引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

主 要
事 業

企業対策セミナー

本年度第1回



外国人高度技術者とAIテーマに



田口代表



吉村委員長

6月23日、建産連研修センターで本年度第1回目の企業対策セミナーを企業対策委員会(吉村光司委員長)の主催で開催しました。今回のテーマは、外国人高度技術者とAIで、セミナーにはおよそ30人が参加しました。

積田会長は「今年の協会事業の大きな柱の1つに、人手不足にどう対応していくかへフォーカスしていきたいと考えています。具体的には、企業対策委員会が担当する外国人高度技術者の採用と、人材育成委員会が担当する国内人材確保を分けて行っていきます」と述べました。AIについては「AI・DX技術は、生産性向上と採用につながります。こうした技術が数年後に一般的になった時に、われわれ協会員が乗り遅れることのないようにしたい」とAIやDX学習の重要性を呼び掛けました。

講演は、第1部で(一社)NAPの田口芳弘代表理事

が「外国人高度技術者の雇用」について説明。外国人労働者のうち、前年度比で45%増、留学生も44%増と国別でもっとも高い伸び率を示しているミャンマーの現状や取り組み等を紹介しました。第2部では、中小企業AI推進協会の代表理事も務める吉村委員長が講師を務め「AI実践 実務に活かすAIエージェント」をテーマに、AI時代に求められる管理職の役割や、日常の業務にAIを活かしてプログラミングによる作業を任せる方法について提示しました。



多くの会員が参加しました

主 要
事 業

第1回

技術講習会



130人が高圧受変電設備学ぶ

5月19日、本年度第1回目の技術講習会を、建産連研修センター大ホールで開催しました。講習会には、会員企業のほか、県や市町村の担当課職員も多く参加し、合わせておよそ130人が集まりました。

冒頭のあいさつで深井正美副会長は「われわれ電気に携わる技術者として、高圧受変電設備は核心・心臓となる設備です」と講習テーマの重要性を強調しました。続けて「当協会は技術講習会を年2回開催していますが、今後も皆さまが参加したくなるような内容を企画提案していきたい」と述べ、これからも技術講習会への参加・協力を呼び掛けました。

講師は、関電工北関東営業本部埼玉支店の吉田浩樹氏が務めました。吉田氏は、テーマである高圧受変電設備について、計画・設計・施工の順に内容を解説し

ました。参加者は業務に役立てようとメモを取りながら理解を深めました。



会員企業のほか県や市町村職員も多く参加しました

協会運営が新体制になりました

総会終了後の理事会互選により、以下のとおりに役職が決まりました（敬称略）。

役 職 名	所属会社名	氏 名
会 長	(株) 積 田 電 業 社	積 田 優
副 会 長	内 山 電 設 (株)	内 山 祥 章
副 会 長	佐 野 電 機 (株)	佐 野 雄 一 朗
副 会 長	深 井 電 気 (株)	深 井 正 美
副 会 長	(株) イートラスト埼玉	山 本 和 利
理 務 総 務・広 報 委 員 長	(株) 橋 本 電 工	橋 本 幹 男
理 企 業 対 策 委 員 長	(株) 八 洲 電 業 社	吉 村 光 司
理 技 術 研 究 委 員 長	(株) 新 電 気	西 藤 輝
理 事 故 防 止 対 策 委 員 長	(株) 躍 進 電 気	矢 嶋 博 和
理 人 材 育 成 委 員 長	島 村 電 業 (株)	島 村 典 泰
理 務 総 務・広 報 副 委 員 長	(株) 栗 原 電 機	栗 原 一 也
理 企 業 対 策 副 委 員 長	富 士 電 気 工 業 (株)	小 川 佳 輝



本年度から2力年の執行部体制

理 務 総 務 事 務 理 事	飯 島 電 器 工 事 (株)	飯 島 将 史
理 技 術 研 究 副 委 員 長	橋 電 (株)	橋 本 勉
理 事 故 防 止 対 策 副 委 員 長	(株) 丸 電	丸 山 正
理 人 材 育 成 副 委 員 長	一 般 社 団 法 人 埼 玉 県 電 業 協 会	荒 川 清 江
監 事	(株) 市 之 瀬 電 設	市 之 瀬 正 靖
監 事	高 山 電 設 工 業 (株)	阿 部 憲 夫

全体会議を開催 各委員会の構成決まる

6月16日、全正会員を対象とした全体会議を建産連研修センターで開き、本年度の各委員会の構成について決定しました。

この全体会議は2年に1度、役員改選が行われる年の総会後に実施しています。会議では、最初に各支部会議

を行って会員の所属委員会を決め、その後に各委員会を開催してそれぞれ本年度の活動方針等を話し合い、その内容を各委員長が発表しました。本年度から総務委員会と広報委員会が統合され、新たに総務・広報委員会となりました。

支部紹介



さいたま支部



東部支部



西部支部



南部支部



北部支部

新委員会構成は以下のとおりです。(敬称略)

【総務・広報委員会】

委員長	(株) 橋本電工	橋本 幹男	
副委員長	(株) 栗原電機	栗原 一也	
委員	イーテクノ(株)	久保田 努	新生電気工事(株) 竹島 芳茂
	(株) 大久保電気	柿沼 裕	(株) 東電工業社 小暮 淳夫
	(株) 大庭電気商会	大庭 正巳	(株) 中村電気 中村 安男
	倉持電気(株)	瀧澤 由樹	那須電機工業(株) 相馬 宏彦
	埼玉田中電気(株)	田中 栄三	松山電設(株) 新井 雅志
	埼玉電設(株)	川合 昭	(株) 丸電 丸山 正
	(株) 三共電気商会	井上 則文	(株) ヤマト・イズミテクノ 岩田 洋
	三光電気工事(株)	豊田 茂昭	

【技術研究委員会】

委員長	(株) 新電気	西藤 輝	
副委員長	飯島電器工事(株)	飯島 将史	
委員	(株) ウェーブゼンケン	後藤 健	島村電業(株) 島村 典泰
	(株) 内村電気	内村 貴康	正和工業(株) 横田 生樹
	浦和電気工事(株)	松村 文明	(株) 高岡電気工業 宇野 美枝
	(株) おぎでん	平野 敦照	中村電設工業(株) 中村 康宏
	熊谷電機(株)	小林寿寿弘	(株) 早川電工 早川 隆治
	毛塚電気工事(株)	毛塚 和史	フジヤ電気工事(株) 柴崎 弓弦
	栄電業(株)	大木 崇寛	(株) 北産電設 金子 圭
	(株) 佐久間電設	佐久間直人	

【人材育成委員会】

委員長	島村電業(株)	島村 典泰	
副委員長	(株) 丸電	丸山 正	
委員	飯島電器工事(株)	飯島 将史	(株) 大広電気 熊田 秀明
	(株) 市之瀬電設	市之瀬正靖	(株) 積田電業社 戸沢 忠幸
	内山電設(株)	内山 祥章	中村電設工業(株) 中村 康宏
	大塚電設(株)	大塚 嵩之	橋電(株) 橋本 勉
	(株) おぎでん	平野 敦照	フジヤ電気工事(株) 柴崎 弓弦
	熊谷電機(株)	小林 慶弘	(株) 北産電設 金子 圭
	埼玉電設(株)	田崎 良憲	(株) 明電社 吉野川裕之
	佐野電機(株)	佐野雄一朗	

【企業対策委員会】

委員長	(株) 八洲電業社	吉村 光司	
副委員長	富士電気工業(株)	小川 佳輝	
委員	(株) 市之瀬電設	市之瀬正靖	中外電気工業(株) 高橋 直人
	(株) 内田電気商会	田村 盛良	ニチデン技術サービス(株) 玉江 浄
	(株) 岡島電気商会	岡島 英和	(株) 沼尻電気工事 沼尻 裕之
	木下電機(株)	木下 貴博	(株) 万代電気工業 三角喜久治
	クマタ(株)	熊田 武民	(株) 松岡電気工業 松岡 貴幸
	霜田電気(株)	霜田 崇	瑞穂電設(株) 荻莊 賢一
	太洋電設工業(株)	浅子さゆ美	(株) ヤマスズ 鈴木 寿治
	高山電設工業(株)	阿部 憲夫	

【事故防止対策委員会】

委員長	(株) 躍進電気	矢嶋 博和	
副委員長	橋電(株)	橋本 勉	
委員	(株) エコ	逸見 公一	(株) 大広電気 熊田 秀明
	(株) エルテックコーポレーション	佐藤 隆行	(株) 電成社 萩原 隆一
	大塚電設(株)	大塚 薫	(株) 長井電機 長井 真理
	(株) 岡村電機	岡村 一巳	(株) 龍島電機 龍島 尚久
	共和電機(株)	山根 隆義	(株) まつもと電機 石田 太平
	(株) 三進電気工事	矢部二治男	(株) 明電社 吉野川裕之
	三位電気(株)	佐藤 仁	(株) 弓木電設社 弓木 裕一
	(株) 関根電気商会	関根 敏郎	

総務・広報委員会



企業対策委員会



技術研究委員会



事故防止対策委員会



人材育成委員会



受験準備講習会・技能講習・特別教育



1級電気工事施工管理技士 一次検定突破へ5日間学習

1級電気工事施工管理技術検定試験（第一次検定）の受験準備講座が、建産連研修センターで5月27日から5日間コースで行われました。

講座には15人が参加しました。初日にはオリエンテーションやガイダンスを行い、検定試験の内容や効果的な学習方法を説明しました。各回とも午前中は関係法令などの講義を行い、午後からは模擬試験を実施、その後、採点・評価・

解説を行い、理解を深めました。個人別に学習指導も行い、検定突破に向けて学びました。



第二種電気工事士取得へ 筆記試験準備講座3回コース

第二種電気工事士の筆記試験の準備講習会を4月23日、5月7日と14日の3回コースで、建産連研修センターで行いました。

第二種電気工事士は、住宅や小規模店舗といった一般用電気工作物の電気工事を担当することのできる国家資格です。筆記と技能の試験があり、両試験に合格し免状交付申請を行うことで、第二種電気工事士免状が交付されます。

講習には12人が出席しました。ケイ・教育企画サポート事務所の茂木次郎講師が担当して、初日は配線図記号や器

具・材料と工具を、2日目は配線設計、電気工事、検査方法を、3日目は電灯配線と複線図、電気の基本理論を学び、各日とも模擬試験を受けて、問題を解説しながら実力を確認しました。



石綿作業主任者技能講習

石綿作業主任者の技能講習を6月11日と12日の2日間、建産連研修センターで行い、27人が参加しました。

1日目はオリエンテーションを行った後、石綿の基礎知識や石綿による健康障害、建築物の解体等における暴露防止対策、製造や取扱作業における作業環境管理を学習しました。

2日目は保護具に関する知識や労働安全衛生法といった関係法令を学び、最後に修了試験を行いました。



酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習

酸素欠乏症・硫化水素危険作業主任者の技能講習を6月3日から5日までの3日間、建産連研修センターで行い、昨年来を大幅に上回る31人が参加しました。

1日目は、酸素欠乏および硫化水素の発生原因や防止措置に関する知識を学びました。2日目は、酸素欠乏症・硫化水素中毒および救急蘇生や保護具に関する知識について学習。

3日目は、酸素および硫化水素濃度の測定方法や救急蘇生方法など実技講習を受けた後、それぞれ実技テストを行いました。



職長・安衛責任者教育

職長・安全衛生責任者教育を6月18日と19日の2日間、12人が参加して埼玉建産連研修センターで行いました。

昨年に引き続きRSTトレーナー・新CFTの浜浩子さんが講師を務め、初日は職長・安全衛生責任者の役割や作業員に対する指導・教育方法、危険性や有害性等の調査を学びました。2日目は職長・安全衛生責任者が行う安全施工サイクル、関心の保持と創意工夫を引き出す方法、異常時・災害発生時における措置を学習しました。また

長尺物の運搬作業、現地KY、パトロール中の指導方法、災害事例研究については、グループ討議を行いました。



低圧電気取扱者特別教育

低圧電気取扱者特別教育を6月29日と30日の2日間、建産連研修センターで行い15人が参加しました。

初日はオリエンテーションを行った後、低圧電気に関する基礎知識として配線・変電設備、保守・点検、絶縁用防保護具や、低圧用安全作業用具に関する知識および低圧活線作業と活線近接作業方法について基礎を学びました。2日目は、関係法令や停復電作業の手順書作成などを学習し、最後にまとめとして理解度確認テストを行い、全ての内容を受講した人には修了証が授与されました。



AIはどこまで進化するのか



(株)エルテックコーポレーション 取締役営業部長 佐藤 博樹

最近、テレビや新聞だけでなく、仕事の場面でも「AI」という言葉を聞かない日はありません。私自身も興味を持ち、ここ2年ほどChatGPTを活用しています。

最初は「本当に使えるのだろうか」と半信半疑でした。しかし実際に使ってみると、その便利さに驚かされました。朝礼の話題づくりや挨拶文の作成、会議資料の下書き、情報収集など、さまざまな場面で活用しています。これまで時間をかけて考えていたことが短時間で整理できるため、業務の効率化につながっています。

もちろん、AIが作った文章をそのまま使うことはありません。内容を確認し、自分の言葉で修正しながら活用しています。相談相手や補助役としては非常に優秀で、今では仕事に欠かせない存在になっています。

私たち電気工事業界でも、AIの活用は今後さらに進んでいくと思います。積算業務の補助や工程管理、過去データの分析など、人手不足への対応や業務改善に大きく役立つ可能性があります。これまで経験や勘に

頼っていた部分も、データを活用することで新たな気付きが得られるかもしれません。

一方で、「AIに仕事を奪われるのではないか」という声もあります。しかし私は、AIは人の代わりではなく、人を支援する道具だと考えています。お客様との信頼関係づくりや現場での判断、責任ある意思決定は、これからも人間の大切な役割です。

AIがどこまで進化するのかは誰にも分かりません。しかし、変化の速い時代だからこそ、新しい技術に関心を持ち、まずは使ってみることが大切ではないでしょうか。AIを上手に活用しながら、人にしかできない価値を高めていくことが、これからの時代に求められていると感じています。



安全やビジネスの基本学が

令和8年度新入社員研修

令和8年度の新入社員研修を4月2日、3日、6日の3日間にわたり、埼玉建産連研修センターで行い、会員企業16社に入社した26人が参加しました。

開校式で佐野雄一郎副会長は新入社員に歓迎の言葉を呼び掛けた後、「仕事はお客様や取引先など多くの人と関わり、一人ではできません。会社は異なっても同じ電業協会会員企業の同期入社となる皆さまのネットワークや、協会で行っているさまざまな研修を役立てて、研修後に各会社へ戻ってからも勉強と研さんを積んで活躍してください」と期待を寄せました。

研修は2日と3日は労働安全衛生法に基づく雇入れ時

安全衛生教育を、6日はビジネスマナーの基本と社会人意識について学びました。

協会では一企業では難しい初期重点教育をサポートすることで、社会人として第一歩を踏み出す会員企業の新入社員教育を手助けしています。



会員企業16社から26人が参加しました

本年度の業務内容確認

県住設備保守点検説明会

6月2日、本年度の県営住宅消防・電気設備等保守点検業務実施説明会を、埼玉建産連研修センターで開きました。参加したおよそ50人の会員各社の現場責任者らは、本年度の保守点検や修繕工事の注意事項、報告書の提出方法等を確認しました。

あいさつで住宅供給公社技術部公営住宅技術課の会田卓永課長は「消防設備の点検は火災への備えであり、いざ火災が発生した場合に正常に機能することを維持することが目的です。県営住宅の火災は、一昨年度10件、昨年度は8件発生していますが、ほとんどは初期消火で済んでいます。これも消防設備が正常に機能している成果だと思います」と保守点検の意義と効果を強調しまし

た。

その後、説明に移り、第1部では住宅施設概要や保守点検、修繕工事、負担区分について、公営住宅技術課の酒巻一博主査が行いました。第2部では点検実施、点検結果報告書の作成や提出方法等について、当協会の荒川専務理事が説明しました。



会員企業からおよそ50人が参加しました

協会のうごき

6月

- 1日 第2回 人材育成委員会
2日 第1回 梶住消防点検説明会
16日 第5回理事会
令和8年度 全体会議
新旧役員歓送迎会
23日 第1回 企業対策セミナー

7月

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 3日 | 第2回 事故防止対策委員会
令和8年度 安全大会 |
| 9・10日 | 新入社員フォローアップ研修 |
| 14日 | 第2回 正副会長会議 |
| 21日 | 第6回 理事会 |
| 23日 | 第2回 総務・広報委員会 |

- 24日 第1回 技術研究委員会
29日 第26回 埼玉県建築設備関連三
団体連絡会議
30日 第2回 企業対策委員会

8月

- 5日 第2回 企業対策セミナー
国土交通省関東地方整備局との
意見交換会

埼玉県認定職業訓練事業

1 級電気工事施工管理技術検定試験（一次）受験準備講習会	6月10・17・24・7月1日
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	6月3・4・5日
石綿作業主任者技能講習	6月11・12日
職長・安全衛生責任者教育	6月18・19日
低圧電気取扱者特別教育	6月29・30日
消防設備士甲種4類	7月16・17日
1 級電気通信施工管理技術検定試験（一次）受験準備講習会	7月30・31日
第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会	8月27日
足場の組立て作業主任者技能講習	8月20・21日

(一社)埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (17社)

- 浦和電気工事(株)(南区)
(株)エルテックコーポレーション
(見沼区)
大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
毛塚電気工事(株)(大宮区)
埼玉田中電気(株)(南区)

- 埼玉電設(株)(中央区)
- 栄電業(株)(上尾市)
- 新生電気工事(株)(見沼区)
- (株)横田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)靑島電機(大宮区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- (株)松岡電気工業(桜区)
- (株)丸電(西区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- ◎(株)八洲電業社(北区)

東部支部(15社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)
倉持電気(株)(三郷市)
三光電気工事(株)(上尾市)
(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
正和工業(株)(春日部市)
◎(株)新電気(三郷市)
(株)大広電気(八潮市)
太平洋設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
ニチデン技術サービス(株)
(北本市)

西部支部 (20社)

- ◎飯島電器工事(株)(川越市)
(株)市之瀬電設(志木市)
(株)ウェーブゼンケン(入間市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
○(株)おぎでん(川越市)
木下電機(株)(入間市)
クマタ(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
○(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマスズ(飯能市)
(株)ヤマト・イズミテクノス
(ふじみ野市)

南部支部 (6社)

- ◎内山電設(株)(川口市)
(株)佐久間電設(川口市)
○佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (15社)

- イーテクノス(株) (熊谷市)
 ◎(株)イートラスト埼玉
 (行田市)
 (株)内村電気 (深谷市)
 (株)エコー (深谷市)
 共和電機(株) (秩父市)
 熊谷電機(株) (熊谷市)
 ○(株)栗原電機 (深谷市)
 霜田電気(株) (皆野町)
 中外電気工業(株) (深谷市)
 (株)東電工業社 (熊谷市)
 (株)長井電機 (熊谷市)
 (株)沼尻電気工事 (深谷市)
 (株)早川電気 (鴻巣市)
 松山電設(株) (東松山市)
 (株)躍進電気 (深谷市)



高校生のJ E C A F A I R視察に協力

日本電設工業協会が主催する電設工業展「J E C A F A I R 2026」が5月27日から3日間、東京ビッグサイトを会場に開かれ、県立川口工業高校電気科生徒が参加した視察会に当協会が協力しました。

視察会には、同校電気科1年生79人が参加しました。冒頭、同校の吉岡悟教諭から当協会に対し「生徒が研修・見学を通じてこのような大変貴重な体験ができる場をご提供いただき、御礼申し上げます」と感謝の言葉をいただきました。

会場の視察に先立ち、佐野雄一郎副会長が「電気設備工事とは」と題して座学を行い、使用する工具や工法で

住宅やビルで実際にどのように電気工事の仕事を行っているのかを、わかりやすく説明しました。

会場では、生徒が4班に分かれ各ブースを視察。未来へつながる電設技術に関連する新製品・新技術を見学前の座学で学んだ内容を参考にしながら、電気設備への興味・理解を深める機会となりました。

